

平成27年度千葉市消防局重点事業実施結果状況調査表

重点目標1 社会情勢の変化及び消防需要等に対応した本市消防力の見直しと、  
消防広報並びに地域消防防災の中核的役割を担う消防団体制の充実強化

| 重点施策1                  | 社会情勢の変化及び消防需要等に対応した本市消防力の基準の見直し  | 実施状況  | 所管課 |
|------------------------|--|---|-----|
| 重点<br>取<br>組<br>事<br>項 | <ul style="list-style-type: none"> <li>平成26年10月31日付消防庁告示第28号により、市町村が適正な規模の消防力を整備するに当たっての指針となる「消防力の整備指針（平成12年消防庁告示第1号）」の一部改正が行われたところです。このことから、本市が保有する消防力について改めて総点検するとともに、社会情勢の変化や、消防需要等に対応する消防力の計画的な整備を進めるため、本市消防力の基準の見直しを図ります。</li> </ul>                                    | <ul style="list-style-type: none"> <li>一部改正された消防力の整備指針に基づき、本市の消防力の総点検を実施し、消防力の基準の見直しを図った。見直し結果に基づき、消防力の計画的な整備を進めていく。</li> </ul>   | 総務課 |
|                        | <p>【達成目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>本市消防力の基準の見直し</li> </ul>   | <p>《成果》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>本市消防力の基準の見直しを図った。</li> </ul>   |     |
| 重点施策2                  | “市民に身近な消防”を目指すための消防広報の充実強化   | 実施状況  | 所管課 |
| 重点<br>取<br>組<br>事<br>項 | <ul style="list-style-type: none"> <li>広聴業務により、市民ニーズの把握に努め、各種施策に反映させる。また、消防広報活動の充実を図る。</li> <li>※パブリシティ等を有効に活用し、消防行政に対する理解と信頼の向上に努める。</li> <li>防災対策、火災予防対策等の重要性について、市民の認識を高め、安全・安心のまちづくりを推進する。</li> <li>災害情報等を迅速・的確に収集する。</li> <li>消防音楽隊による消防広報及び火災予防等の広報活動を充実する。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>ウェブサイトやSNSを活用し、消防広報活動、予防広報活動施設見学対応及び音楽活動等を実施した。</li> <li>報道機関に対する発表及び資料提供 495回</li> <li>防火訓練等 826回 参加人員 41,443人</li> <li>施設見学 182回 参加人員 9,475人</li> <li>消防音楽隊の活動状況 50回</li> <li>※消防音楽隊員の募集は随時実施</li> </ul> | 総務課 |
|                        | <p>【成果指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>市民見学会等におけるアンケート、「消防の仕事などを理解した」と思う市民の割合：95%以上</li> <li>消防局ホームページ年間アクセス件数：150,000件以上</li> <li>市民1万人のまちづくりアンケート、「市の消防・救急体制が整っている」と思う市民の割合：現状値（平成23年度末）49.3%→目標値（平成26年度末）53.0%</li> </ul>                                   | <p>《成果》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>市民見学会等におけるアンケート「消防の仕事などを理解した」と思う市民の割合：96%</li> <li>消防局ホームページ年間アクセス件数：250,000件以上</li> <li>市民1万人のまちづくりアンケート「市の消防・救急体制が整っている」と思う市民の割合：目標値：53.0%→現状値：52.1%（平成26年度末）</li> </ul>                     |     |

平成27年度千葉市消防局重点事業実施結果状況調査表

重点目標1 社会情勢の変化及び消防需要等に対応した本市消防力の見直しと、  
消防広報並びに地域消防防災の中核的役割を担う消防団体制の充実強化

| 重点施策3          | 地域消防防災の中核的役割を担う消防団体制の充実強化   | 実施状況   | 所管課 |
|----------------|---|--|-----|
| 重点<br>取組<br>事項 | <ul style="list-style-type: none"> <li>「消防団を中核とした地域防災力の充実強化に関する法律（平成25年法律第110号）」の施行に伴い、地域消防防災力向上のため、消防団員の処遇改善など、更なる消防団体制の充実強化を図ります。</li> <li>大規模災害等に対応できる基本活動訓練、人材育成を行います。</li> <li>消防団の新戦力の確保を図る為に、各署の行事等において市民と消防団が身近に触れ合う活動を通じて、消防団員の入団促進を図ります。また、機会がある度に、事業所・自治会・学生等へ積極的に入団を呼びかけます。</li> <li>千葉市消防団協力事業所表示制度の推進</li> <li>消防団器具置場3棟及び小型動力ポンプ付き積載車1台の整備</li> <li>消防団装備の充実強化（デジタル無線機、救命胴衣の整備）</li> </ul>                         | <ul style="list-style-type: none"> <li>消防団体制の充実強化を図るため、「消防団員に対する現場指揮課程」を行った。</li> <li>大規模災害等に対応できるよう基本活動に重点をおいた訓練を実施した。<br/>／訓練回数 111回、延べ参加人員 5,814人<br/>／現場指揮課程 1回（2日間）、延べ参加人員 44人</li> <li>消防団の新戦力を確保するため、市民と消防団が身近に触れ合う活動を展開した。また、大学生に対し積極的に入団募集を実施、さらに、機関紙への投稿、マスメディアによる広報を行った。</li> <li>企業へ千葉市消防団協力事業所制度への協力を依頼した。</li> <li>消防団器具置場及び小型動力ポンプ付き積載車を整備した。</li> <li>デジタル無線機、救命胴衣を整備し、消防団装備の充実強化を図った。</li> </ul>  | 総務課 |
|                | <p>【達成目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>消防団入団促進活動の実施（秋・春の火災予防運動、救急フェア、ボランティア週間時、各消防署管内で実施）→6消防署×4回（イベント数）＝市内計24回実施</li> <li>消防団器具置場3棟の整備（更科、土気、六通）</li> <li>小型動力ポンプ付き積載車1台の整備（高根）</li> <li>消防団装備の充実強化（デジタル無線機、救命胴衣の整備）</li> </ul> <p>【成果指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>消防団協力事業所登録数（25事業所 ※平成27年1月現在）<br/>→35事業所（目標値）</li> <li>消防団員数90.8%（実員数763／定数840 ※平成27年1月現在）<br/>→100%（目標値840／定数840）</li> </ul> | <p>《成集》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>消防団入団促進活動の実施<br/>／6消防署×4回（イベント数）＋消防団係6回<br/>＝計30回実施 125%<br/>／機関紙への投稿 6回（掲載 11回）<br/>／マスメディアによる広報<br/>ウェブサイトへの記事掲載 15回、テレビ放映 1回</li> <li>消防団器具置場の整備 2棟（更科、土気） 66.7%<br/>※消防団器具置場1棟（六通）については、年度内に事業が完了しなかったため、翌年度に繰り越した。</li> <li>小型動力ポンプ付積載車の整備 1台（高根） 100%</li> <li>消防団装備の充実強化<br/>／デジタル無線機 6台<br/>／救命胴衣の整備 92着</li> <li>消防団協力事業所登録数 35事業所 100%<br/>（平成26年度末登録数：30事業所）</li> <li>消防団員数92.1%（実員数774人／定数840人）<br/>※平成28年4月1日現在</li> </ul> |     |

平成27年度千葉市消防局重点事業実施結果状況調査表

重点目標2 優秀な人材の確保及び人事管理体制の充実

| 重点施策4  |  | 優秀な人材の確保  | 実施状況  | 所管課 |
|--------|--|-----------|---|-----|
| 重点取組事項 | <ul style="list-style-type: none"> <li>多数退職を迎え、既存の消防力を維持・強化させるためには、優秀な人材確保が必要不可欠であることから、一定の消防職員採用試験の受験者数を確保するため、学校訪問及び学校説明会に積極的に参加し、職員募集の働きかけを行います。特に、消防士（建築・電気・化学）は受験者数を確保するため重点的に働きかけを行います。</li> </ul> |           | <ul style="list-style-type: none"> <li>優秀な人材確保のため、学校訪問及び学校説明会を積極的に実施した。</li> <li>／学校訪問数：53校</li> <li>／就職説明会等参加数：15回</li> <li>／採用試験受験者数（全体）：683人（募集人数：41人）</li> <li>／採用試験受験者数（建築・電気・化学）：4人（募集人数：6人）</li> </ul> | 人事課 |
|        | <p>【成果指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>（平成27年度消防職員採用試験受験倍率）／12.7倍（過去5年平均の職員採用試験受験倍率）<math>\geq</math> 110%</li> <li>平成27年度消防職員採用試験（建築・電気・化学）受験倍率 <math>\geq</math> 5倍</li> </ul>           |           | <p>《成果》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>16.7倍（平成27年度消防職員採用試験受験倍率）／12.7倍（過去5年平均の職員採用試験受験倍率）=131%</li> <li>平成27年度消防職員採用試験（建築・電気・化学）受験倍率 = 0.7倍</li> </ul>  |     |
| 重点施策5  |  | 健康管理対策の推進 | 実施状況  | 所管課 |
| 重点取組事項 | <ul style="list-style-type: none"> <li>複雑多様化する災害に対応するには、強靱な体力と精神力が必要であり、心身ともに健康体でなくてはならないことから、健康管理に関する各種講習会等を積極的に受講させ、必要な知識の修得を図るとともに、健康障害の予防、早期発見及び早期治療を推進します。</li> </ul>                               |           | <ul style="list-style-type: none"> <li>衛生委員会等を通じ、職員に対し健康管理を推進して健康診断の受検率の向上と、各種健康管理研修へ積極的に参加させ、健康障害の予防及び早期発見・早期治療を図った。</li> </ul>  | 人事課 |
|        | <p>【成果指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>健康管理対策に関する知識の向上<br/>／各種健康管理研修会（70人以上）</li> <li>健康障害の予防及び早期発見、早期治療<br/>／健康診断二次検診受検率90%以上</li> </ul>  |           | <p>《成果》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>各種健康管理研修の受講者数 106人 151%<br/>（メンタルヘルス研修89人、その他健康管理研修17人）</li> <li>健康診断二次検診受検率 97%</li> </ul>  |     |

平成27年度千葉市消防局重点事業実施結果状況調査表

重点目標3 消防施設及び装備の充実強化による市民の安全・安心基盤整備

| 重点施策6          |   | 消防庁舎等の整備    | 実施状況   | 所管課 |    |        |          |   |      |          |   |             |        |   |      |    |    |
|----------------|---|-------------|--|-----|----|--------|----------|---|------|----------|---|-------------|--------|---|------|----|----|
| 重点<br>取組<br>事項 | <ul style="list-style-type: none"> <li>女性消防職員の職域拡大（交替制勤務へ起用）のため、計画的に庁舎改修を行い、女性職員用施設等の整備を推進します。</li> <li>消防活動拠点としての機能を確保するため、消防庁舎の建替事業等を推進します。</li> <li>消防庁舎等の修理、改善を行い、職場環境の充実を図ります</li> </ul>   |             | <ul style="list-style-type: none"> <li>女性交替制勤務職員用施設の整備を計画に基づき推進した。</li> <li>宮崎出張所の改築事業を計画に基づき実施した。</li> <li>消防庁舎の修理、改善を計画的に行い、職場環境を整備した。</li> </ul>  | 施設課 |    |        |          |   |      |          |   |             |        |   |      |    |    |
|                | <p>【達成目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>女性交替制勤務職員用施設（稲毛、美浜）の整備に係る改修工事の実施</li> <li>宮崎出張所建替に係る仮設庁舎建設及び旧庁舎解体工事の実施</li> <li>千葉市消防局・中央消防署合同庁舎の空調設備に係る改修工事の実施</li> <li>あすみが丘出張所（仮称）用地の地質調査の実施</li> </ul>   |             | <p>《成果》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>稲毛、美浜消防署の女性交替制勤務職員用施設を整備した。</li> <li>宮崎出張所建替に係る仮設庁舎建設及び旧庁舎解体工事を計画どおり実施した。（平成27・28年度継続事業）</li> <li>千葉市消防局・中央消防署合同庁舎の空調設備に係る改修工事を計画どおり実施した。（平成27・28年度継続事業）</li> <li>あすみが丘出張所用地の地質調査を計画どおり実施した。</li> </ul> |     |    |        |          |   |      |          |   |             |        |   |      |    |    |
| 重点施策7          |   | 消防車両等の整備    | 実施状況   | 所管課 |    |        |          |   |      |          |   |             |        |   |      |    |    |
| 重点<br>取組<br>事項 | <ul style="list-style-type: none"> <li>車両更新計画に基づき、計画的に消防車両等を整備し、消防力の維持を図ります。</li> <li>NOx・PM法に抵触する車両については、触媒装置を設置し、運用しているため低公害車の導入を推進します。</li> <li>消防車両等の法定点検整備の平準化を図り、安定した消防力を確保します。</li> </ul>  |             | <ul style="list-style-type: none"> <li>車両更新計画に基づき、12台の消防車両を導入した。</li> <li>車両更新計画に基づき、窒素化合物及び微粒子物質の削減対策を講じた消防車両の更新を実施した。</li> <li>消防車両等の年間法定点検整備の平準化を維持することにより、安定した消防力の機能確保を実施した。</li> </ul>  | 施設課 |    |        |          |   |      |          |   |             |        |   |      |    |    |
|                | <p>【成果指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>消防車両等の導入（導入台数／導入予定台数12台）＝100%<br/>                     《導入予定車両》</li> </ul> <table border="1" data-bbox="289 1162 1021 1390"> <thead> <tr> <th>車両種別</th> <th>台数</th> <th>配置予定場所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>消防ポンプ自動車</td> <td>2</td> <td>生浜、畑</td> </tr> <tr> <td>高規格救急自動車</td> <td>4</td> <td>花見川、若葉、緑、打瀬</td> </tr> <tr> <td>資機材搬送車</td> <td>6</td> <td>各消防署</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>12</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> |             | 車両種別   |     | 台数 | 配置予定場所 | 消防ポンプ自動車 | 2 | 生浜、畑 | 高規格救急自動車 | 4 | 花見川、若葉、緑、打瀬 | 資機材搬送車 | 6 | 各消防署 | 合計 | 12 |
| 車両種別           | 台数  | 配置予定場所      |  |     |    |        |          |   |      |          |   |             |        |   |      |    |    |
| 消防ポンプ自動車       | 2   | 生浜、畑        |  |     |    |        |          |   |      |          |   |             |        |   |      |    |    |
| 高規格救急自動車       | 4   | 花見川、若葉、緑、打瀬 |  |     |    |        |          |   |      |          |   |             |        |   |      |    |    |
| 資機材搬送車         | 6   | 各消防署        |  |     |    |        |          |   |      |          |   |             |        |   |      |    |    |
| 合計             | 12  |             |  |     |    |        |          |   |      |          |   |             |        |   |      |    |    |

平成27年度千葉市消防局重点事業実施結果状況調査表

重点目標4 学校教育の充実による人材育成の推進

| 重点施策8  | 新たな教育体制の推進   | 実施状況  | 所管課  |
|--------|--|---|------|
| 重点取組事項 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・初任教育対象者の基礎的な知識・技術の習得と消防実務能力の向上を図ります。</li> <li>・「専科教育」は、時代の変化に対応したカリキュラムを作成し、職員の能力向上を図ります。</li> <li>・「消防団員教育」は、災害指揮能力を向上させるための教育を実施します。</li> </ul>                      | <ul style="list-style-type: none"> <li>・初任教育、専科教育ともに、実戦的な内容を取り入れ、職員の能力向上を図った。</li> <li>・消防団員教育の体系を改め、災害指揮能力の向上を図る課程を新たに設けた。</li> </ul>  | 消防学校 |
|        | <p>【達成目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「初任教育」を1年教育とし、基礎教育・実務教育の教育管理を行いながら、専科教育の受講体制を整える</li> <li>・教育訓練計画に基づき実施する全ての課程を検証評価し、受講者の理解度を向上させるカリキュラムを作成する</li> <li>・新たに「消防団指揮幹部科」の教育を実施する</li> </ul> | <p>《成案》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・6か月間の基礎課程（主に消防学校で実施）及び6か月間の実務課程（主に消防署所で実施）の計1年間の教育を64人が修了した。</li> <li>また、実務課程中に専科教育を7課程（計104日）並行で実施した。</li> <li>・各課程の入校生にアンケートをとり、検証評価した結果を平成28年度の各カリキュラムに反映した。</li> <li>・消防団員教育に「幹部教育現場指揮課程」を新設し、41人が修了した。（2日間）</li> </ul> |      |
| 重点施策9  | 教育環境の整備  | 実施状況  | 所管課  |
| 重点取組事項 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校施設及び設備の維持管理を実施し、教育環境整備を図ります。</li> <li>・学校運営上不可欠な施設の改修及び訓練施設の機能回復を行います。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・消防学校の各庁舎及び附帯設備の保守点検、所要の改修等を行い、教育・訓練環境を整備した。</li> </ul>  | 消防学校 |
|        | <p>【達成目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・消防学校管理棟及び宿泊棟の水道設備転換事業を推進する</li> <li>・宿泊棟浴室濾過循環設備の改修を実施する</li> <li>・訓練施設を有効活用するための機能回復を図る</li> </ul>  | <p>《成案》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・消防学校管理棟及び宿泊棟の水道設備改修工事に要する経費を平成28年度予算に要望した。</li> <li>・消防学校宿泊棟の浴槽濾過循環設備を改修した。</li> <li>・消防学校訓練塔の消火訓練施設の機能を回復した。</li> <li>また、同塔の救助訓練施設改修工事に要する経費を平成28年度予算に要望した。</li> </ul>   |      |

平成27年度千葉市消防局重点事業実施結果状況調査表

重点目標4 学校教育の充実による人材育成の推進

| 重点施策10 | 教育指導体制の強化   | 実施状況   | 所管課  |
|--------|---|--|------|
| 重点取組事項 | <ul style="list-style-type: none"> <li>教育担当職員の指導能力向上を図ります。</li> <li>「個別学習支援（※CAI）システム」の改善点を抽出、改善策を反映した次期システムの仕様作成を実施します。</li> </ul>                                       | <ul style="list-style-type: none"> <li>各種業務の教育指導者、新任の消防学校職員として必要な専門的な知識・技術の修得、資質の向上を図った。</li> <li>次期「個別学習支援システム」への更新に向け、必要な調査研究を行った。</li> </ul>  | 消防学校 |
|        | <p>【達成目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>他教育機関に教育担当職員を派遣し、指導能力の向上を図る</li> <li>次期システム移行に向け「個別学習支援システム」の改善点を抽出するとともに、「消防事務処理システム」との連携を図るための調査研究を実施する</li> </ul> | <p>《成業》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>教育担当職員の派遣研修履歴               <ul style="list-style-type: none"> <li>／消防大学校 救助科 1人修了（4/13～6/4）</li> <li>／消防大学校 火災調査科 1人修了（10/21～12/10）</li> <li>／消防大学校 新任教官科 1人修了（3/8～18）</li> <li>／消防大学校 消防団教育訓練推進者養成コース 2人修了（12/14～18）</li> <li>／千葉県消防学校 訓練指導科 2人修了（4/6～17）</li> </ul> </li> <li>個別学習支援システムの更新に係る調査研究               <ul style="list-style-type: none"> <li>／次期システムに改善反映すべき現存システムの不都合を抽出した。</li> <li>／消防事務処理システムとの連携可否を調査した結果、連携可能であることが判明した。</li> </ul> </li> </ul> |      |

平成27年度千葉市消防局重点事業実施結果状況調査表

重点目標5 多様化する災害に対応できる消防力の充実強化

| 重点施策11         |   | 消防活動体制の強化と部隊能力の向上  | 実施状況  | 所管課 |
|----------------|---|--------------------|---|-----|
| 重点<br>取組<br>事項 | <ul style="list-style-type: none"> <li>消防活動体制の強化を目的とした、消防力の整備を推進します。</li> <li>指揮隊を中心とした部隊能力を強化し、迅速・適確・安全な災害対応の徹底を図ります。</li> <li>特殊災害（NBC災害）対応の充実強化を図ります。</li> </ul>   |                    | <ul style="list-style-type: none"> <li>消防活動体制の強化を図るため、消防車両の配置及び乗り換え運用を見直し、計画どおり実施した。</li> <li>指揮隊を中心とした部隊能力及び安全管理体制の強化を図るため、各種訓練を計画的に実施した。</li> <li>特殊災害（NBC災害）に係る研修及び訓練を関係機関と共同で実施した。また、NBC災害対応マニュアルの改正を行った。</li> </ul>  | 警防課 |
|                | <p>【達成目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>計画的な車両配置の見直しや、特別高度救助隊の効率的運用など消防力の整備を推進し、消防活動体制を強化する</li> <li>警防技術大会及び消防救助技術大会を通じた訓練や、安全管理教育の実施により部隊能力の向上を図る</li> <li>新たな計画によるNBC災害対応訓練を実施し、NBC災害対応の強化を図る</li> </ul>  |                    | <p>《成果》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>化学車及び梯子車の配置の見直しを行い、危険物災害対応力の強化を図った。また、特別高度救助隊を含む救助隊員の増員を図った。（1隊：8人×2課体制の推進）</li> <li>警防技術大会（8月）及び消防救助技術大会（千葉県大会：6月、関東大会：7月、全国大会：8月）に向けた訓練を4月から8月に実施し、部隊能力の向上を図った。</li> <li>放射線医学研究所及び千葉県警等と共同でNR（核・放射性物質）災害対応研修会（研修5回・図上訓練1回・実働訓練1回）を実施し、NBC災害対応の強化を図った。</li> </ul>                                    |     |
| 重点施策12         |   | 大規模・広域災害に対する即応体制強化 | 実施状況  | 所管課 |
| 重点<br>取組<br>事項 | <ul style="list-style-type: none"> <li>大規模・広域災害発生時における応援・受援体制を強化します。</li> <li>大地震に備えた防火水槽（耐震性）の整備計画を策定します。</li> <li>自然災害に備えた土砂災害警戒区域等の危険箇所の対応を強化します。</li> </ul>   |                    | <ul style="list-style-type: none"> <li>大規模・広域災害発生時における応援・受援体制を強化を図るため、各種訓練を実施した。</li> <li>防火水槽整備計画の策定に向け検討を進めた。</li> <li>土砂災害危険区域再点検を実施し、対応を強化した。</li> </ul>  | 警防課 |
|                | <p>【達成目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>震災対応訓練、緊急消防援助隊全国合同訓練及び関東ブロック訓練、長時間救助活動想定訓練の実施により、大規模・広域災害応援・受援体制を強化する</li> <li>市域を250mメッシュに1基の設置目標とした防火水槽の整備計画を策定し、消防水利の確保に努める</li> <li>土砂災害（特別）警戒区域（121箇所）、急傾斜地崩壊危険区域（103箇所）、冠水箇所等を現地踏査し即応体制の確立を図る</li> </ul> |                    | <p>《成果》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>各種訓練の実施 <ul style="list-style-type: none"> <li>／震災対応訓練（6/27）</li> <li>／緊急消防援助隊全国合同訓練（11/13～14）</li> <li>※緊急消防援助隊関東ブロック合同訓練は関東・東北豪雨災害により中止（緊急消防援助隊として茨城県に出動）</li> <li>／長時間救助活動想定訓練（1月）</li> </ul> </li> <li>防火水槽の整備計画について、基本的方針の検討を進めた。</li> <li>土砂災害（特別）警戒区域、急傾斜地崩壊危険区域及び冠水箇所の現地踏査を6月に実施した。</li> </ul> |     |

平成27年度千葉市消防局重点事業実施結果状況調査表

重点目標6 市民の安全・安心を守る救急体制の充実強化

| 重点施策13 | 応急手当普及啓発活動及び救急需要対策の推進  | 実施状況   | 所管課 |
|--------|--|--|-----|
| 重点取組事項 | <ul style="list-style-type: none"> <li>新しい形態での救命講習の開催を通じたバイスタンダーの育成</li> <li>地域における自助・共助精神を基とした救護能力の向上</li> <li>市民と協働した応急手当普及啓発活動の推進</li> <li>救急隊の適切な運用及び関係各機関と連携した救急需要対策の推進</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>応急手当WEB講習（e-ラーニングを用いた救命講習）など新しい形態での救命講習の開催を通じ、バイスタンダーの育成を図った。</li> <li>応急手当普及協力事業所での救命講習など地域における自助共助精神を基本とした救護能力の向上を図った。</li> <li>応急手当インストラクターを活用した救命講習を開催するなど、市民と協働した応急手当普及活動を推進した。</li> <li>関係各機関（市医師会・医療機関・行政各部局等）と連携した救急需要対策を推進した。</li> </ul>   | 救急課 |
|        | <p>【達成目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>地域の特色に応じた応急手当の普及の推進（都市型・地域型など）</li> <li>応急手当普及啓発における関係各機関（日本赤十字社・市医師会・行政各部局・その他の機関）との連携強化</li> <li>救急隊の効率的な運用方法の構築と関係各機関（市医師会・医療機関・行政各部局）と連携した救急需要対策の確立（待機救急隊ゼロ状態の撲滅）</li> <li>「救急車の適正利用」実現のための広報活動の充実</li> </ul> <p>【成果指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>普通救命講習、上級救命講習の開催（年間400回8,000人）</li> <li>短時間救命講習（こども救命講習会、女性救命講習会含む）の開催（年間120回3,000人）</li> <li>応急手当WEB講習（e-ラーニングを用いた救命講習）の開催（年間40回1,000人）</li> <li>応急手当インストラクターを活用した救命講習の開催（年間30回）</li> <li>「応急手当ジュニアインストラクター講習」の開催（こども・若者の意見反映事業）</li> <li>応急手当普及協力事業所での救命講習の開催（年間10回）</li> <li>自治会・町内会・マンション管理組合などを主たるターゲットとした応急手当普及協力事業所認定数の増加（30事業所増）</li> </ul> <p>※交付事業所件数424件（平成26年12月末現在）</p> | <p>《成果》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>地域の特色に応じた応急手当の普及を推進した。（応急手当WEB講習、イブニング講習等）</li> <li>民間団体と協力した応急手当の普及啓発を推進した。</li> <li>救急需要対策として、市民協働事業「救急車の適正利用促進事業」を行い、救急車の頻回利用者に対する支援体制を構築した。（稲毛区をモデルとして実施）</li> <li>「救急車の適正利用」実現のための広報活動を実施した。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>普通救命講習、上級救命講習の開催<br/>442回（111%）、7,422人（93%）</li> <li>短時間救命講習の開催<br/>235回（196%）、6,279人（209%）</li> <li>応急手当WEB講習の開催<br/>116回（290%）、1,899人（190%）</li> <li>応急手当インストラクターを活用した救命講習の開催<br/>131回（436%）</li> <li>応急手当ジュニアインストラクター講習の開催<br/>4回、49人</li> <li>応急手当普及協力事業所での救命講習の開催<br/>14回（140%）</li> <li>自治会・町内会・マンション管理組合などを主たるターゲットとした応急手当普及協力事業所認定数の増加<br/>31事業所増（103%）</li> </ul> <p>※ 平成26年度末 交付事業所 462件<br/>平成27年度末 交付事業所 493件</p> |     |

平成27年度千葉市消防局重点事業実施結果状況調査表

重点目標6 市民の安全・安心を守る救急体制の充実強化

| 重点施策14 | 救急業務高度化の推進   | 実施状況   | 所管課 |
|--------|--|--|-----|
| 重点取組事項 | <ul style="list-style-type: none"> <li>救急分野におけるICTシステム（情報通信技術）の構築</li> <li>救命率の向上に必要な救急技術の強化及び救急隊員への新たな教育体制の整備</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>救急分野におけるICT化の推進を図った。</li> <li>救急技術の強化及び教育体制の整備として、平成27年12月1日から青葉病院救急ワークステーションの試行運用を開始した。</li> </ul>   | 救急課 |
|        | <p>【達成目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ICTを活用した救急搬送体制を構築する</li> <li>病院局（青葉病院）と連携し、救急隊員及び救急救命士への新たな病院実習体制を構築する</li> <li>救急隊員（救急救命士を除く）に対する教育カリキュラムの検討</li> </ul> <p>【成果指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>救急救命士の養成               <ul style="list-style-type: none"> <li>／救急救命士の新規養成（4人）</li> <li>／気管挿管認定救急救命士の養成（2人）</li> <li>／ビデオ硬性挿管用喉頭鏡認定救急救命士の養成（4人）</li> <li>／薬剤投与認定救急救命士の養成（2人）</li> <li>／救急救命士処置範囲拡大（拡大二行為）認定救急救命士の養成（2人）</li> </ul> </li> <li>救急隊員の人材育成               <ul style="list-style-type: none"> <li>／一般救命士の再教育（病院実習 55人、集合教育 62人）</li> <li>／気管挿管認定救急救命士の再教育（14人）</li> <li>／薬剤投与認定救急救命士の再教育（22人）</li> </ul> </li> </ul> | <p>《成果》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>救急車（25台）、指令センター常駐医師、受入協力医療機関にICTを活用した救急情報共有端末を導入し、スムーズな救急搬送システムを構築した。</li> <li>青葉病院救急ワークステーションにおいて新たな教育カリキュラムにより病院実習を開始した。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>救急救命士の養成               <ul style="list-style-type: none"> <li>／救急救命士の新規養成 4人（100%）</li> <li>／気管挿管認定救急救命士の養成 5人（250%）</li> <li>／ビデオ硬性挿管用喉頭鏡認定救急救命士の養成 6人（150%）</li> <li>／薬剤投与認定救急救命士の養成 10人（500%）</li> <li>／救急救命士処置範囲拡大（拡大二行為）認定救急救命士の養成 2人（100%）</li> </ul> </li> <li>救急隊員の人材育成               <ul style="list-style-type: none"> <li>／一般救命士の再教育 病院実習52人（95%）</li> <li>※一般救命士の再教育（集合教育）及び救急救命士（気管挿管認定、薬剤投与認定）の再教育は、青葉病院救急ワークステーションにおける実習に統合したため、未実施。</li> </ul> </li> </ul> |     |

平成27年度千葉市消防局重点事業実施結果状況調査表

重点目標7 共同指令センターの管理運営の充実及び指令管制技術の向上

| 重点施策15         |   | 指令管制業務の技能向上及び均質化 | 実施状況   | 所管課 |
|----------------|---|------------------|--|-----|
| 重点<br>取組<br>事項 | <ul style="list-style-type: none"> <li>指令管制の手引き及び指令判断基準に基づき、一連の指令管制業務を実施しているが、すべての指令管制員が熟読、理解するとともにシステムに対する知識及び技術のスキルアップを図ります。</li> <li>運用との相違が生じた場合には、適時に見直しの検討を行い、現場活動等に則した基準等の改正を実施します。</li> <li>指令管制業務の均質化を図り、119番通報の受付において、親切で迅速、正確な市民サービスを実施します。</li> <li>迅速的確な応援、受援体制を確立し、大規模災害に備えます。</li> </ul> |                  | <ul style="list-style-type: none"> <li>OJTを毎日実施し、指令管制の手引き、指令判断基準を熟読するとともに、119番通報受付時における、迅速、正確かつ親切丁寧な対応を徹底し、市民サービス及び指令管制技術の向上を図った。</li> <li>指令判断基準について、運用上変更の必要が生じたため、必要な部隊数の設定が行えるように基準の改正を行った。</li> <li>接遇等に関する研修を実施し、指令管制業務の均質化を図った。</li> <li>大規模災害に備え、対応訓練を実施した。</li> </ul> | 指令課 |
|                | <p>【成果指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>例年実施している訓練の他、OJTを活用し機会教養を実施、指令第1班から第4班全員が高い技術を維持し、119番受付から出動指令まで2分以内を達成する</li> <li>指令管制業務を円滑に推進するため、各種部会、会議を年度内において下記回数以上実施する<br/>(協議会1回、幹事会2回、専門部会4回、班長副班長6回)</li> </ul>  |                  | <p>《成集》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>119番通報から出動指令までの所要時間<br/>すべての災害：平均1分32秒<br/>うち救急出動：平均1分27秒</li> <li>OJT 365回実施</li> <li>各種部会、会議の実施<br/>／協議会 1回 100%<br/>／幹事会 4回 200%<br/>／専門部会 5回 125%<br/>／班長副班長会議 2回 33.3%</li> </ul>                                      |     |
| 重点施策16         |   | 新人指令管制員の養成       |  | 所管課 |
| 重点<br>取組<br>事項 | <ul style="list-style-type: none"> <li>共同指令センターの正式運用から2年が経過し、派遣職員の入れ替え時期となることから、新人指令管制員に対し事前研修等により、市民サービスの低下を防止します。</li> <li>事前計画に基づき就業前研修、着任後実践研修により指令管制技術の習得を図ります。</li> </ul>   |                  | <ul style="list-style-type: none"> <li>4月期に20人、10月期に14人の管制員の入れ替えを行い、事前計画に基づき研修を行った。さらに研修終了後は、副センター長による習熟度の確認を実施する等、スキルアップを図った。</li> </ul>  | 指令課 |
|                | <p>【達成目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>派遣前60時間の就業前研修終了後、着任後直ちに40時間の実践研修に着手できる</li> <li>100時間の研修終了後は、一連の指令管制業務を補助者なしで行える</li> </ul>  |                  | <p>《成集》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>新人指令管制員の研修状況<br/>34人(100時間研修受講者) / 34人(入れ替え人数) = 100%</li> </ul>  |     |

平成27年度千葉市消防局重点事業実施結果状況調査表

重点目標8 機動力を活用した航空消防体制の充実強化

| 重点施策17         |  | 安全運航体制の充実強化                    | 実施状況   | 所管課 |
|----------------|--|--------------------------------|--|-----|
| 重点<br>取組<br>事項 | <ul style="list-style-type: none"> <li>安全運航体制を充実させるため、各種訓練を実施し、不安全要素に対する洞察力の向上を図ります。</li> <li>各種講習会等へ積極的に参加し、安全運航に関する知識及び技術の向上に努めます。</li> </ul>  |                                | <ul style="list-style-type: none"> <li>安全運航体制を充実させるため、各種訓練を実施した。</li> <li>安全運航に関する知識及び技術の向上のため、各種講習会へ参加した。</li> </ul>  | 航空課 |
|                | <p>【達成目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>各種訓練の実施<br/> <ul style="list-style-type: none"> <li>／操縦訓練（30回）</li> <li>／隊員訓練（20回）</li> <li>／防災訓練（10回）</li> </ul> </li> <li>各種講習会への参加<br/> <ul style="list-style-type: none"> <li>／計器飛行訓練（4人）</li> <li>／全国航空消防協議会（1人）</li> <li>／整備関係講習会（2人）</li> </ul> </li> </ul> <p>【成果指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>無事故飛行時間の延伸<br/>（平成26年12月31日現在・7,114時間）</li> </ul> |                                | <p>《成業》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>各種訓練の実施<br/> <ul style="list-style-type: none"> <li>／操縦訓練（28回）93.3%</li> <li>／隊員訓練（15回）75.0%</li> <li>／防災訓練（28回）280%</li> </ul> </li> <li>各種講習会への参加<br/> <ul style="list-style-type: none"> <li>／計器飛行訓練（4人）100%</li> <li>／全国航空消防協議会（1人）100%</li> <li>／整備関係講習会（2人）100%</li> </ul> </li> </ul> <p>【成果指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>無事故飛行時間の延伸<br/>（平成27年12月31日現在・7,331時間）</li> </ul> |     |
| 重点施策18         |  | 救助隊、消防隊及び救急隊との連携訓練による航空消防活動の強化 | 実施状況   | 所管課 |
| 重点<br>取組<br>事項 | <ul style="list-style-type: none"> <li>連携航空救助員の養成を行い、航空救助活動の充実強化を図ります。</li> <li>救助隊との連携救助訓練及び消防隊、救急隊とのドクターピックアップ救急活動連携訓練を実施し、災害対応能力の向上を図ります。</li> <li>航空救急活動への積極的な取組み</li> </ul>   |                                | <ul style="list-style-type: none"> <li>連携航空救助員の養成を行った。</li> <li>救助隊及び救急隊等との連携訓練を実施した。</li> <li>航空救急活動訓練を積極的に実施した。</li> </ul>   | 航空課 |
|                | <p>【達成目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>連携航空救助員の養成（6人）</li> <li>救助隊及び救急隊等との連携訓練（20回）</li> <li>質の高い航空救急活動のため、離着陸場の充実を図る</li> </ul>   |                                | <p>《成業》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>連携航空救助員の養成（6人）100%</li> <li>救助隊及び救急隊等との連携訓練（24回）120%</li> <li>緊急時離着陸場の充実を図るため、関係機関と調整した。</li> </ul>   |     |
| 重点施策19         |  | 広域災害発生時における消防航空体制の連携強化         | 実施状況   | 所管課 |
| 重点<br>取組<br>事項 | <ul style="list-style-type: none"> <li>千葉県が大規模災害を被災した想定での緊急消防援助隊全国合同訓練において、ヘリベースの運営及び全国消防防災航空隊との連携について検討調整を実施し、大規模災害時における航空消防体制の強化を図ります。</li> </ul>  |                                | <ul style="list-style-type: none"> <li>緊急消防援助隊全国合同訓練に参加し、ヘリベースの運営及び全国消防防災航空隊との連携に係る各種課題の対応方法について検討調整を行った。</li> </ul>   | 航空課 |
|                | <p>【達成目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>緊急消防援助隊全国合同訓練における消防防災航空部隊の円滑かつ効率的な運用調整を図る</li> </ul>  |                                | <p>《成業》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>海上自衛隊下総航空基地をヘリベースとした際の、円滑なヘリベース運用方法について、検討調整を実施し、全国消防防災航空隊及び自衛隊との連携強化が図られた。</li> </ul>  |     |

平成27年度千葉市消防局重点事業実施結果状況調査表

重点目標9 市民の安全・安心な暮らしを守る火災予防行政の推進

| 重点施策20         |   | 住宅防火対策の推進     | 実施状況  | 所管課 |
|----------------|---|---------------|---|-----|
| 重点<br>取組<br>事項 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 幼少年から高齢者まで各世代で必要とされる防火知識の普及啓発を図ります。</li> <li>・ 住宅用火災警報器など住宅用防災機器等の設置及び維持管理の推進を図ります。</li> <li>・ 住宅火災出火原因の上位を占める放火火災防止対策の推進を図ります。</li> <li>・ 関係機関・団体との連携・協力体制の充実を図ります。</li> </ul>  |               | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 幼少年向けの住宅防火教育のための教材等を作成した。</li> <li>・ 高齢者世帯への住宅防火訪問指導を実施し、防火知識の普及啓発を行った。(254件実施)</li> <li>・ 消防フェア等の各種イベントや施設見学で住宅用火災警報器のデモ器による実演を行うなど積極的な普及啓発に努めた。</li> <li>・ 市内の防犯パトロール隊へ放火に関する情報提供をした。</li> <li>・ 住宅防火フェア等のイベントを協力団体と連携し開催した。また、千葉市住宅防火対策推進協議会を通じ協力体制の強化を図った。</li> </ul>                                      | 予防課 |
|                | <p>【達成目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 住宅用火災警報器の設置率向上</li> </ul> <p>【成果指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 住宅用火災警報器の設置世帯数(自動火災報知設備等を設置する世帯を含む) / 市内対象世帯数=89.3% &lt;消防庁推計値。平成27年6月・千葉市&gt;</li> <li>※住宅用火災警報器設置率89.0%&lt;消防庁推計値。平成26年6月・千葉市&gt;</li> <li>・ 幼少年向け住宅防火教育(100回)</li> <li>・ 住宅防火講話(350回)</li> </ul> |               | <p>《成果》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 住宅用火災警報器の設置率=89.3%(達成度100%)</li> <li>※平成27年6月1日現在(消防庁公表)</li> <li>(平成26年6月と比較し設置率が0.3%向上)</li> <li>・ 幼少年向け住宅防火教育</li> <li>平成27年度は各世代ごとの教育用シナリオ及び消防署所で使用する教材を作成した。幼少年への直接的な防火教育は平成28年度から実施する。</li> <li>・ 住宅防火講話実施数(402回)115%</li> </ul>   |     |
| 重点施策21         |   | 火災原因調査体制の充実強化 | 実施状況  | 所管課 |
| 重点<br>取組<br>事項 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 調査教育研修及び火災現場を想定した実地研修により、火災調査に対する経験値を上げ、より高度な調査技術を習得させ、調査員の知識・技術の向上を図ります。</li> <li>・ 火災調査から得られた資料を有効活用し、類似火災の防止対策と不明火災の低減化を図ります。</li> </ul>  |               | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 火災調査研修会6回(資機材取扱、電気鑑識要領、ガス機器鑑識要領、実規模建物実習、車両火災研修、放火と公判)職員教育のための実況見分の見学5回、火災調査研究発表会1回を実施し、職員の知識・技術の向上を図った。</li> <li>・ 市内で頻発した漏電火災・電気火災防止のため、電気火災の再現実験画像等をウェブサイト公開した。</li> <li>・ 市内で頻発したスプレー缶火災防止のため、ウェブサイト上の「有害ごみの分け方・出し方」に注意喚起文を追記した。</li> <li>・ 火災調査結果を元に作成した統計結果を、市政だより等の市民広報紙等に掲載し、類似火災防止の広報に活用した。</li> </ul> | 予防課 |
|                | <p>【達成目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 調査員の知識・技術の向上</li> </ul> <p>【成果指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 火災原因不明率の低減化</li> </ul> <p>火災原因不明件数/火災件数=火災原因不明率3%以下</p> <p>※火災原因不明件数9件/火災件数300件</p> <p>=不明率3.00%(平成26年中「概数値」)</p>   |               | <p>《成果》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 各種研修会等により調査員の知識・技術の向上が図られた。</li> <li>・ 火災原因不明率の低減化</li> <li>火災原因不明件数5件/火災件数279件=不明率1.79%</li> </ul>  |     |

平成27年度千葉市消防局重点事業実施結果状況調査表

重点目標9 市民の安全・安心な暮らしを守る火災予防行政の推進

| 重点施策24 | 火災危険性の高い防火対象物に対する違反処理の充実並びに危険物製造所及び特定事業所の保安確保  | 実施状況   | 所管課 |
|--------|--|--|-----|
| 重点取組事項 | <ul style="list-style-type: none"> <li>重大違反（屋内消火栓設備未設置、スプリンクラー設備未設置、自動火災報知設備未設置、避難器具未設置（特定一階段等防火対象物に限る。））の防火対象物に対する違反是正の強化を図ります。</li> <li>防火管理者未選任及び消防用設備等の点検未報告の防火対象物に対する違反是正の強化を図ります。</li> <li>長期間立入検査未実施の防火対象物に対する立入検査の強化を図ります。</li> <li>社会福祉施設等に対する火災予防対策の推進を図ります。</li> <li>危険物製造所等の基準適合状況、維持管理状況及び危険物の貯蔵又は取扱いに係る保安を確保します。</li> <li>特定事業所の自衛防災組織体制の充実強化及び対応能力の質的向上に関する指導を引き続き推進するとともに、災害発生時における迅速かつ適切な情報提供体制の整備に関する事項を防災規程に定めるよう指導を徹底し、特定事業所の保安を確保します。</li> <li>高度かつ専門的知識を必要とする査察業務の質を確保するため、予防技術者等の資格取得の推進を図ります。</li> </ul>                   | <ul style="list-style-type: none"> <li>次の防火対象物に対して、違反の是正が図られた。<br/>成果達成数／対象物数（達成率）<br/>（平成26年度・平成27年度特別対応中。）<br/>／重大違反 75／89（84.3%）<br/>／防火管理者未選任 1,996／2,604（76.7%）<br/>／消防用設備等点検結果未報告 3,616／4,698（77.0%）</li> <li>長期間立入検査未実施対象物に対して立入検査を実施した。<br/>（平成26年度・平成27年度特別対応中。）<br/>成果達成数：3,956／対象物数：4,226（93.6%）</li> <li>社会福祉施設等に対して立入検査等を通じて火災予防対策の推進を図った。</li> <li>危険物製造所等に対して立入検査を通じて保安の確保を図った。</li> <li>市内全特定事業所が、災害発生時の情報提供体制を防災規程に定めた。（全8事業所）</li> <li>予防技術検定受験者に対し通信講習・プレテストを実施し資格取得の支援を行った。</li> </ul> | 予防課 |
|        | <p>【成果指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>※重大違反対象物等に対する是正等の成果達成率100%<br/>（平成27年度是正等の成果達成数／平成27年度特別対応計画数）<br/>是正等の成果達成率は、重大違反対象物等に対して、年度計画により立入検査が実施されたもの、及び是正等の成果達成が図られたもの</li> <li>※重大違反対象物等の区分</li> <li>①屋内消火栓設備未設置、スプリンクラー設備未設置、自動火災報知設備未設置、避難器具未設置（特定一階段等防火対象物に限る。）</li> <li>②防火管理者未選任</li> <li>③消防用設備等の点検未報告</li> <li>④長期間立入検査未実施</li> <li>法令改正に伴う社会福祉施設等に対する指導対応率100%<br/>（指導対応数／指導対象数）</li> <li>危険物製造所等及び特定事業所に対する立入検査実施率100%<br/>（平成27年度立入検査実施数／平成27年度立入検査計画数）<br/>※平成25年度立入検査実施率123%（999／811）</li> <li>予防技術資格の資格者育成</li> </ul> | <p>《成実》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>重大違反対象物等に対する是正等の成果達成率<br/>成果達成数：2,314／特別対応計画数：2,874（80.5%）</li> <li>①重大違反 17／18（94.4%）</li> <li>②防火管理者未選任 452／665（68.0%）</li> <li>③消防用設備等の点検未報告 517／930（55.6%）</li> <li>④長期間立入検査未実施 1,554／1,801（86.3%）</li> <li>※①～④の複数の項目に該当している防火対象物があるため合計数は一致しない。</li> <li>法令改正に伴う社会福祉施設等に対する指導対応率<br/>実施数：428／計画数：372（115%）</li> <li>危険物製造所等及び特定事業所に対する立入検査実施率<br/>立入検査実施数：847／立入検査計画数：792（107%）</li> <li>予防技術検定（防火査察専門員）の合格者 5人</li> </ul>                        |     |

平成27年度千葉市消防局重点事業実施結果状況調査表

重点目標10 指導行政に必要な審査指針等の整備及び高度な知識技術を有する職員の育成

| 重点施策23 |   | 指導行政に必要な審査指針等の整備 | 実施状況   | 所管課 |
|--------|---|------------------|--|-----|
| 重点取組事項 | <ul style="list-style-type: none"> <li>危険物許認可等の事務処理を統一かつ適正に行うため、消防法令の改正に対応した危険物規制審査指針等の改正を行います。</li> <li>消防同意等の事務処理を統一かつ適正に行うため、消防用設備等技術基準等の改正を行います。</li> </ul> |                  | <ul style="list-style-type: none"> <li>危険物規制審査指針に太陽光発電設備を設置する場合の安全対策に係る事項等を追加した。また、一般取扱所の審査を、より統一かつ適正に行うため審査表を作成した。</li> <li>消防用設備等技術基準の全面見直しを行った。</li> </ul>  | 指導課 |
|        | <p>【達成目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>危険物規制審査指針等の改正（平成27年度修正版）</li> <li>消防用設備等技術基準等の改正（平成27年度修正版）</li> </ul>                                     |                  | <p>《成果》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>危険物規制審査指針の一部改正（平成27年度修正版）及び危険物規制審査表（一般取扱所）の作成（平成28年3月9日）</li> <li>消防用設備等技術基準の改訂（平成27年度版）</li> </ul>   |     |
| 重点施策26 |   | 指導業務における人材育成     | 実施状況   | 所管課 |
| 重点取組事項 | <ul style="list-style-type: none"> <li>社会情勢の変化に的確に対応した指導業務が展開できる人材の育成を図ります。</li> <li>高度な専門知識、技術を有する指導業務における人材を計画的に養成するため、予防技術資格者等の育成の推進を図ります。</li> </ul>        |                  | <ul style="list-style-type: none"> <li>所管課教育の実施等                             <ul style="list-style-type: none"> <li>／6月8日 危険物防災講習会 21人</li> <li>／2月9日 所管課教育（危険物） 9人</li> <li>／3月23日 所管課教育（建築） 23人</li> <li>／外部主催の講習会等への課員の受講 延べ35人受講</li> </ul> </li> <li>予防技術検定受講者に対する講習会の実施                             <ul style="list-style-type: none"> <li>1月12日～3月2日 消防用設備等専門員</li> </ul> </li> </ul> | 指導課 |
|        | <p>【成果目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>予防技術資格の資格者育成</li> </ul>  |                  | <p>《成果》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>予防技術検定（消防用設備等専門員）の合格者 3人</li> </ul>   |     |